

会 議 録

会議の名称	養父市公営企業審議会（第1回）
開催日時	令和4年12月2日（金） 午後3時05分～5時30分
開催場所	養父公民館 A研修室
委員	10名（うち1名Web出席）
事務局	まち整備部：圓山部長、柳川次長、橋本次長 上下水道課：中島課長、小田垣主幹、奥山主幹、櫃主幹、中村主事
<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状交付 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け時間を短縮するため、代表者1人への交付とし、他の委員は机上配布していることを説明。</p> <p>3 市長あいさつ 委員の皆様方におかれましては、お忙しい中公営企業審議会委員を委嘱させていただきました。第1回養父市公営企業審議会にご出席いただきありがとうございます。養父市にはいくつかの審議会がありますが、過去の公営企業審議会におかれましては、養父市合併後、財政事情が厳しく行革をどんどん進める中、合併前の4町でバラバラだった料金、使用料を経営的に成り立つよう統一化を図るなど、当時の委員さんには非常にご尽力いただきました。 養父市は地形的に県下一高低差が大きく、上下水道施設においては過酷な使用条件にあります。高低差が大きいところでは、水道管内の圧力が高くなり、老朽化した管では漏水の危険性が高く更新をしなければ持たない、また人口減少が進む中、料金収入の増加も見込めず、市民には県下でも高い料金を負担していただいています。現在の経営状況は比較的安定しているものの内容的には厳しいものがあります。市民に負担を求めると、住みにくいまちといったことにもなります。水道は生活インフラであり命をつなぐため、安全な水を供給するということは必要不可欠なことです。施設等の合理化も限界にきつつある中、いろんな側面から料金のあり方を評価検証し、経営的に成り立つ料金体系の構築を行う必要があります。委員の皆様にはいろいろな視点でご意見をいただければと思います。</p> <p>4 委員自己紹介 委員、事務局職員、名簿順に自己紹介</p> <p>5 会長・副会長の選出 選出について、委員に諮ったところ、「事務局一任」の声があり、事務局から会長・副会長を提案したところ、拍手で承認された。</p>	

6 会長あいさつ

養父市は中山間地域にあり、上下水道事業を運営していくうえでは地形的に不利な状況にあります。全国の自治体と同じように人口減少により今後は利用人口、利用水量が減少していきます。また、設備機器等の老朽化に伴う施設の更新費用の高騰により非常に厳しい経営状況に陥っています。安い料金で事業が運営できればそれにこしたことはありませんが、この人口減少の時代において、将来にわたって安定的に持続可能な経営を維持していくために、今何ができるのかを皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

7 養父市上下水道料金のあり方について（諮問）

会長に対して、広瀬市長が諮問書を読み上げ、諮問した。

8 議事

(1) 今後の審議会スケジュールについて

事務局より説明を行い、事務局提案のスケジュールで進めることで合意

(2) 養父市上下水道料金のあり方について

事務局が別添「令和4年度養父市公営企業審議会資料（第1回）」に基づき説明

【質疑応答】

(委員) 水道施設の統廃合により経営の効率化が図られるのであれば、もっと進めればよいのではないかと。

(事務局) 現施設を活用しての統廃合の場合、主となる施設の能力（浄水能力）で統合した地域全体の水量を賄えなければ、統廃合することができません。現時点では令和6年度から3ヶ年で実施する統廃合事業が最後となり、以降、経営的に有利となる統廃合は当分の間予定されていません。

(委員) 過疎化が進み、少人数になってしまった集落について、水道施設の維持をどうするのか。また、繁忙期に使用水量が増加する観光地はどのように運営しているのか。

(事務局) 施設の更新時に規模を小さくすることは考えられますが、少人数になったからと言って供給をやめることはできません。水道加入者には水道水を受ける権利があるので、市は供給できるよう施設を維持することになります。観光地や大型の施設については、使用量の調査を行って施設整備を行っていることで水が足りなくなるようなことはありません。

(委員) 水道施設・機械等の更新について、耐用年数の1.5倍超過を目途として更新を実施するのか。

(事務局) 基本スタンスはその通りです。ただし、耐用年数の1.5倍を過ぎても使えるものは使うという考えです。

(委員) 耐用年数の1.5倍を過ぎているものもあるが、故障が生じたりしないか。
(事務局) やはり年数が古い物は故障が多くなります。しかしながら水道のポンプ等は予備機を設けており、1台の故障で直ちに断水となることはありません。

(委員) 水道の計画上、消火栓に要する水量、経費は加味されているのか。また、消火栓の代替となる防火水槽により経費が削減できるのではないか。

(事務局) 一度確認させていただき、次回の審議会でお答えします。

(委員) 料金を考えるうえで収益的収支、資本的収支どちらを主に見ていくのか。

(事務局) 収益的収支と考えています。

(委員) 統廃合事業で経費の削減につながったのか。

(事務局) 次回の審議会で説明いたします。

【意見】

(委員) 都市部と比べ水道料金がものすごく高いと感じた。

(委員) 上下水道は生活していくうえで大切なもの、料金が高いと住みにくい。

(委員) 上下水道料金が高いと、養父市で事業を始めよう（養父市へ進出しよう）と考える方や事業者が少なくなるのではないか。

(委員) 機会があれば上下水道施設の見学を行ってもよいのではないか。

(3) その他

○情報公開について

- ・ 審議会毎に次第、審議した項目、資料をホームページで公開する。
(概ね会議後2週間から1か月後に公開)
- ・ 議事録、委員名簿については答申後に公開する。

9 閉会（副会長）

会計の健全化と地域創生という立場で料金の位置づけをどうするかということは、かなり政策的なものになります。今後、非常にタイトな審議になると思いますが、忌憚のないご意見をいただきながらこの審議会を進めていきたいと思っております。

本日は誠にありがとうございました。